

サンゴ礁保全行動計画 全体構成案

1. 前文
 - ・行動計画の目的・役割（新たな「サンゴ礁生態系保全調和型地域づくり」に向けて）
 - ・行動計画の位置づけ
（国際条約等（CBD・ICRI等）、第3次生物多様性国家戦略、海洋基本計画における位置づけ等）
 - ・各主体の役割
2. サンゴ礁域と高緯度サンゴ群集域
 - ・保全の対象（種の保全ではなく生態系の保全）、対象範囲
3. サンゴ礁の価値
 - ・サンゴ礁生態系の価値・機能について
（各価値・機能についての説明、模式図の提示）
 - ・サンゴ礁の価値の試算について
（経済評価（試算）の意味、他の国や地域の試算事例の紹介、3つの機能の試算結果について）
4. 現状
 - ・全国的なサンゴ礁・高緯度サンゴ群集域の現状
（モニタリングサイト1000における評価を参考に）
5. 目標
6. 基本方針
 - ・「サンゴ礁生態系保全調和型地域づくり」の説明
7. 具体的な行動
 - (1) サンゴ礁生態系保全調和型地域づくりのための取組み
 - ① 統合的な沿岸域管理に向けて
(例)
 - 重要海域及び関連する陸域のゾーニング
 - 市町村・都市・住宅地等での取組み（緑化、排水/水質対策等）
 - 森林・農地での取組み（表土流出の防止、自然林の再生、環境負荷が少なく高付加価値の農林業の推進等）
 - 漁業での取組み（計画的・管理漁業（漁獲量・サイズ・時期等のコントロール、MPA?）の推進、環境負荷が少なく高付加価値の養殖の推進）等）
 - 沿岸開発における配慮
 - 海砂採取の現状の把握
 - 地域の資源を保全しながら持続的に活用した観光の推進（海域利用の調整に関する仕組の検討を含む）
 - 自然再生の取組みの推進（オニヒトデ等の駆除の推進、サンゴ移植（適地選定技術の開発推進（ゾーニング、移植後の取組等）等）

- 海域と陸域の保全活動のネットワークの検討
- MPAのネットワーク化の推進（国際・国内）
- サンゴ礁の保全に向けた総合的・継続的なモニタリングの実施等（水質汚濁抑制ではなく生態系の保全を目的にしたモニタリング）

②学校、観光客・業者に対する普及啓発の推進
他

- 地域の資源を活用した環境教育の推進
- 専門家や研究機関等との連携の推進
- 地域の資源を保全しながら持続的に活用した観光に関する人材育成

(2) 生態系保全調和型地域づくりを支援する取組
(例)

- ①サンゴ礁保全連絡会議（仮称）の開催
（地域の保全の取組みとの連携 等）
- ②サンゴに関する調査研究の推進
（水質汚染に対するサンゴの閾値に関する研究、複合汚染の影響に関する研究・調査、流入源での栄養塩調査、海域のサンゴの分散機構の解明、サンゴの病気に関する研究、サンゴ調査の実施の検討 等）
- ③情報の収集・発信体制の整備
（海洋基本計画の枠組みの中で、関係省庁で検討中）
- ④国際的なサンゴ礁保全の取組との連携及び支援

資料